

広報 あなたと町をつなぐ情報誌

# はなわ

2011

12

平成23年12月1日

No. 577

Feghul  
Fukushima! がんばろう  
ふくしま!

## いい香りがするね!

笹原幼稚園で11月18日(金)、食育教室が行われました。「食」の大切さを楽しく学んだ園児たち。保健推進員による食育のおはなしがあった後、実際にダイコン・サツマイモ・リンゴ・タマネギを見てさわったり、香りを楽しんだりしていました。

## CONTENTS (主な内容)

- 特集 自分たちの地域は自分たちで守る～消防団 … P 2～5
- 塙町消防団「民報金ばれん」受賞 …… P 6
- 平成23年塙町功労者表彰式 …… P 8
- 第22回塙町産業祭 …… P 15～17





## 埴町消防団の活動

### 主な各種行事

- 機械器具・新人若年等団員訓練（2年に1回）
- 操法大会（2年に1回）
- 流灯花火大会警戒
- 秋季検閲
- 防火パレード
- 河川焼払警戒
- 文化財防衛訓練

### 防火対策

年1回全家庭を巡回し、防火督促と防火診断を実施。

あわせて、住宅用火災警報器設置の普及啓発も実施。

### 資機材の整備点検

各班1回以上ポンプの点検を実施するとともに、防火水槽、消火栓などの水利の点検を随時実施。

### 訓練

有事に備え、全団員の規律訓練など各種訓練を実施。また、各分団・班は、随時中継訓練などを実施している。

表2 平成23年1月～10月末・埴町消防団の活動実績

区分	件数	人数(延べ)
火災	5件	998人
警戒出動	3件	106人
地震	2件	480人
水害	3件	381人
訓練等	26件	2,491人
計	39件	4,456人

**幅広い活動**  
消防団はこれまで、地震、風水害など幾多の災害に立ち向かってきました。その活動は多岐にわたります。訓練を重ね、災害発生時に活動するほか、発生以前でも河川が増水したときなどは出動し、警戒態勢をとります。さらに行方不明者の捜索や、流灯花火大会などイベント時の特別警戒、火災を予防するための啓発活動なども実施しています。平成23年1月から10月末までの活動実績は39件、出動した団員数は4,456人に上っています。(表2参照)

**地域に密着した活動**  
活動実績の数字を見て分かるように、消防団は町の防災上なくてはならない存在です。  
消防団は各地域に分団が組織されていて、その地域で暮らす団員が在籍しています。そのため、災害時・非常時にはいち早く現場に駆け付けます。その地域に暮らす団員は、知識と経験を武器に、地域に密着した活動を行うことができます。  
また、常に出勤態勢を整備している棚倉消防署埴分署の署員15人に対し、埴町消防団員は410人。その数は約27倍。大規模な災害などの人員が必要なときは、大人数を動員・出動できる組織力もあります。

### 大震災・台風接近時も迅速な対応

消防団の活動は、3・11東日本大震災や9・21台風15号の際も、最大限に発揮されました。

どちらも、被害状況を確認するため町内各地を巡回。自身の住宅などに被害を受けた団員も出動するなど、地域を守るため・町民を守るため、消防団は昼夜を問わず活動を続け



命と安全を守るため、常に最前線で活躍する消防団。そんな消防団は、いわば「地域の守り人」。今月は、埴町消防団の活動を紹介します。

## 特集 埴町消防団

# 自分たちの地域は自分たちで守る

### 常に最前線に立って

普段は私たちと同じように生活。それぞれ別々の仕事をしながらも、まち・地域に危険なことや災害などが起きると、すぐさま現場に向かう人たちがいます。

それが埴町消防団(木田廣明団長)。本団と各地区の5分団(担当地区は表1を参照)で構成。410人が在籍する消防団は、私たちの生命と財産、そしてまちの安全を守るため最前線で活動しています。

### 歴史ある埴町消防団

消防団は、消防組織法により各市町村に設置が義務づけられている、一般住民で編成された組織です。この消防組織の起源は、江戸時代の「町火消(まちびけし)」までさかのぼります。

埴町消防団の沿革は、昭和23年11

月3日、常豊村消防団を埴町消防団と改称。昭和30年3月10日には埴町と笹原村が合併したため、埴町消防団となりました。そして、昭和30年3月31日、埴町原町と高城村、石井村の一部が合併し、現在の埴町が誕生。埴町消防団となり現在に至っています。

表1 各分団の主な担当地域

第1分団(5班編成)	埴、上渋井、上石井
第2分団(5班編成)	東河内、西河内、堀越、常世北野、常世中野、竹之内
第3分団(4班編成)	板庭、中塚、川上、山形の一部
第4分団(5班編成)	木野反、湯岐、片貝、那倉、田代、田野作、大蕨、山形の一部
第5分団(5班編成)	植田、真名畑、伊香、台宿



9月21日午後8時30分、台風15号が埴町に最接近。住宅への床下浸水の被害を最小限にすべく活動

ました。  
もし、消防団の迅速で的確な活動がなければ、被害は確実に増大していたことでしょう。

### 町の誇り「消防団」

必要不可欠な存在「消防団」。火災・災害時の活動だけでなく、行方不明者の捜索や地域のイベントなどにも大きな役割を果たしています。その力なくして地域は成り立ちません。懸命に活動する消防団の活動に、今後ご協力をお願いします。



町民課 大越忠幸課長



# 事業所

## 消防団へのご理解・ご協力を

消防団員には、事業所などに勤めている人も多数含まれているため、迅速な活動には事業所の協力が必要です。団員が消防活動に参加しやすい職場づくりや就業についての配慮、入団勧奨など、ご理解とご協力をお願いします。

## あなたの力が必要です

町消防団では、団員を募集しています。基本的に埴町に住んでいる18歳以上の健康な方であれば、どなたでも入団できます。消防団の活動に興味がある人は、町民課またはお近くの消防団員にご相談ください。あなたの入団を待っています！

■問い合わせ 町民課生活安全係 ☎43-2114

# 消防団員

## 受け継ぐ意識と伝統

### 受け継がれる消防魂

歴史の中で、在籍する消防団員は入れ替わりながらも、地域を守るという意識を常に持ち続けている消防団員。その意識と伝統は、先輩から後輩へと受け継がれてきました。

近年、全国各地で団員の確保が叫ばれています。今回の大震災で、地域のつながり・絆が再認識された今だからこそ、団員の確保が期待されています。埴町の場合は、表をご覧いただくのと分かるのとおり、おおむね確保できているのが分かります。

### 消防団員数の推移

年度	団員数	前年度からの増減
19	410人	▲5
20	409人	▲1
21	410人	1
22	406人	▲4
23	398人	▲8

※平成20年度は10月1日現在。それ以外は4月1日現在。  
※消防団員の定数は410人。



意欲をみせる新入団員の芳賀正隆さん(本町)

### 先輩を目標に

3・11東日本大震災や9・21台風15号など、立て続けに自然が猛威を振るう中、地域を守るために今年度は14人が入団しました。

第1分団では5人が入団。今年6月から、父が経営する会社で働く芳賀正隆さんもその一人です。

「台風のときは、夜遅くまで活動し大変でしたが、多くの人に感謝の言葉をかけられました。やりがいを感じますし、活動の大切さを再認識しました。まだまだ未熟ですが、先輩を目標に礼儀・技術など早く身に付けるようにしたいです。生まれ育った地域のため、自分も貢献したいと思っています」。

困難な活動でも、その原動力になっているのは地域愛と「自分がやらなければ」という責任感。これまで受け継がれてきた思いや意識が、今後さらに広がるのが期待されます。

### 地域に貢献できる消防団

「不安はあったが、すぐにとけこめました。そして自分がやらなければという気持ちになりました」―団員歴19年、現在はラッパ隊副隊長(専属)を務める佐藤憲一さん(堀越)。

「団員のころは常に、木田団長の言葉『自分たちの地域は自分たちで守る』を胸に活動してきました。いざというとき、地域で重要視され貢献できるのは消防団です。若い人にはぜひ入団してほしいですね。地域とのつながりの大切さを実感できるはずですよ。そして、ルールや規律などを学んでほしいと思います。消防団の活動は、困難なことに遭遇することもありますが、やってよかったですと思うはずですよ」。



後輩団員へ思いを込める佐藤憲一さん(堀越)

# 地域を愛し守る

## わたしたちも――

### 「守る」意識は変わらない

今までに起きた災害、今回の東日本大震災そして台風による被害でも、日ごろの訓練の成果を発揮し、わたしたち、そしてまちを守るため活動してくれた消防団。その役割と存在が大きいことを、改めて知ることとなりました。

町消防団の木田廣明団長は、決意と意気込みを語ります。

「今回の災害時でも、団員は住民の先頭に立って活動しました。これは、先輩から受け継いだ精神『自分たちがやらなければ誰がやる』―これを常に行っているからこそ。団員たちは、気概と地域への熱い思いを持っていきます。地元で生活しているからこそ分かる・できることがあります。しかし、その活動には家族・地域の理解と協力が不可欠です。これからご協力をお願いします。そ

して、皆さんに頼られる存在であり続けたいと思っています」。

変わることはない守る意識と責任感。木田団長の言葉は、地域への思いがあふれるものでした。

### みんなで支え地域を守る

地域をよく知り活動する団員は、まさにわたしたちの守り人。しかし、そんな団員も、同じ地域に住む住民でもあります。消防団の活動に対しては、家族はもちろん、地域の理解と協力、そして住民の参加も必要です。

わたしたちはこのまち・地域に住むものとして、体を張り懸命に活動する団員たちに感謝の心を持ち、支えていく必要があるのではないのでしょうか。消防団に任せきりにするのはなく、自分自身も防災に対する意識を高め、いつ来るか分からない災害に備えるべきではないでしょうか。

住民の参加や、地域の理解と協力が消防団の充実につながります。そして、消防団の充実が、まち・地域を守る力に。災害はいつ起きるか、誰にも分かりません。みんなで力を合わせ、自分たちのまち・地域を守っていきましょう。

## 責任感と地域への思い



埴町消防団 木田廣明団長







## 埴町ふるさと産業おこし連絡協議会

# 祝 国土交通省 全国地域づくり推進協議会長賞を受賞



老人会の生きがいづくり

広報はなわ11月号でもお知らせしたとおり、「ダリアのまちづくり」を進めている埴町ふるさと産業おこし連絡協議会（会長 菊池基文町長）が、国土交通省・全国地域づくり推進協議会長賞を受賞しました。表彰式は11月11日（金）、東京都千代田区「都市センターホテル」で開催された「地域づくり全国交流会」の席上で行われました。町か

らは、菊池基文会長・鈴木一徳幹事長（埴町商工会事務局 長）のほか事務局合わせて6人が出席。菊池町長が表彰状を受け取りました。今回の受賞は、最高賞である国土交通大臣賞に次ぐ賞で、全国でも3団体のみです。町協議会では、今後もダリアの取り組みを進め、花いっぱい・笑顔いっぱいのもちづくりを目指します。



受賞の喜びに沸く町協議会事務局



感激の瞬間（表彰状を受け取る菊池町長）



児童たちも楽しくダリアづくり

# 県下一に輝く「優」



## 県下一の消防団

埴町消防団「民報金ばれん」受賞式ならびに報告式が11月27日（日）、埴町公民館大研修室で行われました。幹部団員など100人が出席して行われ、渡部世二福島民報社社長が、木田廣明団長に賞状と



県下一の重みを実感（金ばれんを受け取る木田団長）

「優」の文字が輝く金のまといを手渡しました。木田団長は、菊池基文町長に受賞を報告。菊池町長が「今後も絆をさらに強くし、日本一の消防団を目指し歩んでほしい」とあいさつしました。

県下一の消防団をたたえる「民報金ばれん」。埴町消防団の受賞は初めてです。この表彰は、消防団の士気と地域の防災意識を高めることを目的に、福島民報社が昭和28年度から毎年実施しているもの。平成18年から過去5年間の火災死者は21年の1人。出勤態勢を充実させ迅速な初期消火に努めています。また、全戸対象の防火督促で住宅用火災警報器の設置を推進したほか、東日本大震災では住民の先頭に立ち身体、生命、財産を守ったことが高く評価されました。

## 埴町消防団の主な受賞歴

昭和29年	福島県 無火災競争運動期間	無火災表彰
昭和54年	財団法人日本消防協会	長 表彰旗
昭和56年	福島民友新聞社	表彰 民友旗
平成10年	消防庁長官	表彰 竿頭綬
平成15年	福島県知事	表彰旗
平成21年	財団法人福島県消防協会	長 表彰旗
平成23年	福島民報社	表彰 民報金ばれん

受賞式後、受賞記念パレードを実施。桜木町・本町通り・栄町通り、JR磐城埴駅前交差点を通り堂々と行進しました。沿道に詰め掛けた多くの町民に金ばれんを披露し、祝いの声も千個を手渡しました。パレード終了後、受賞祝賀会が埴農村勤労福祉会館で開かれ、団員や近隣市町村の消防関係者などが出席し、受賞を盛大に祝いました。



町内を堂々とパレードし、多くの町民から祝福されました

# 埴町 民報金ばれん 受賞



## 児童の健康管理に貢献

### 中島徹真さん・学校保健功労者表彰を受賞

中島徹真さん(本町・中島医院院長)が、11月1日(火)に福島市音楽堂で開催された「福島県教育委員会平成23年度教育文化表彰式」で、学校保健功労者表彰を受賞されました。中島さんは、昭和39年に中島医院を開院。昭和43年から笹原小および昭和20年から常豊小の学校医として児童の健康管理に努めています。また、開院以来、地域住民の保健衛生の向上に務め、地域医療に多大なる貢献をされています。



## 地域医療に多大なる貢献

### 車田憲哉さん・保健衛生功労知事表彰を受賞

車田憲哉さん(本町・車田病院院長)が、保健衛生功労知事表彰を受賞されました。表彰式は11月18日(金)、県庁で行われました。車田さんは、昭和38年から車田医院に勤務し、昭和58年に車田病院を開院。地域住民の保健衛生の向上に努め、地域医療に多大なる貢献をされています。また、昭和43年から片貝小、昭和54年から塙小、平成6年からは高城小の学校医として、児童の健康管理に努めています。



## 申告納税制度に貢献

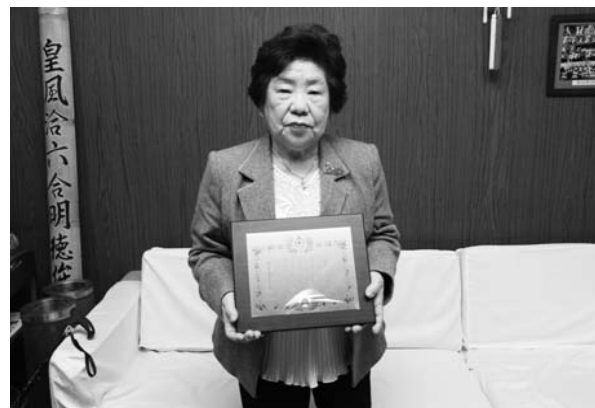
### 山本一三男さん・白河税務署長納税表彰を受賞

山本一三男さん(台宿・株式会社山本組代表取締役)が白河税務署長納税表彰を受賞されました。表彰式は11月11日(金)、白河市「鹿島ガーデンヴィラ」で行われました。山本さんは現在、社団法人白河法人会副会長、塙町商工会長および県南地区商工会連絡協議会長を務め、会員への申告納税の指導などを行っています。今回、申告納税制度の普及発展への貢献が高く認められての受賞となりました。

## 長年にわたり赤十字活動に従事

### 深谷シツイさん・銀色有功章を受章

深谷シツイさん(桜木町)が、日本赤十字社の銀色有功章を受章されました。表彰式は11月8日(火)、郡山市「郡山ビューホテル」で開催された「平成23年赤十字ボランティアのつどい」の席上で行われました。銀色有功章は、長年にわたり赤十字奉仕活動に従事された方への表彰です。深谷さんは、平成2年の塙町赤十字奉仕団設立時から委員として活躍され、平成9年度から15年度には同団委員長を務められました。



受賞された皆さん。菊池基文町長から賞状と記念品が贈られました

## 平成23年 功労者表彰式

# 多大なる功労に 敬意と感謝

平成23年塙町功労者表彰式が11月3日(木)、塙農村勤労福祉会館で開催されました。鈴木道男・町議会議長ほか5人が自治功労表彰、近藤健次さんほか23人が民生福祉功労表彰、金澤昇さんほか1人が善行表彰を受賞しました。

### 自治功労表彰 (順不同・敬称略)

【町議会議員として12年在職し、町振興に寄与】

- ・鈴木道男(伊香) ・鈴木静夫(那倉)
- ・金澤兵衛(植田) ・藤田一男(森/根)
- ・宮田秀利(本町) ・小林達信(桜木町)

### 民生福祉功労表彰 (順不同・敬称略)

【消防団員として勤務状況が良好であり、15年以上勤務】

- ・近藤健次(東河内) ・神永竜太郎(大畑)

- ・勝田常宣(本町) ・吉田昌司(本町)
- ・大縄哲哉(栄町) ・堀江 誠(上浪井)
- ・増子和広(上浪井) ・鈴木儀一(東河内)
- ・野田義則(西河内) ・小野幸男(笹野)
- ・下重勝一(上浪井) ・松本賢一(中塚)
- ・片野 均(板庭) ・白石宗光(川上)
- ・佐川新一(川上) ・松本純一(川上)
- ・石井良雄(川上) ・鈴木 学(湯岐)
- ・深谷兼次(片貝) ・大森理夫(折籠)
- ・池田武司(矢塚) ・鈴木康徳(田代)
- ・金澤 誠(植田) ・品川真市(豊畑)

### 善行表彰 (順不同・敬称略)

【町のふるさとづくりにも多額の寄付】

- ・金澤 昇(植田)
- 【故片野雅英さんの追善として、町の教育振興およびふるさとづくりにも多額の寄付】

- ・片野宗和(矢祭町)



## 立原龍一氏が 無投票再選

### 福島県議会議員一般選挙

東日本大震災や原発事故の影響により延期されていた第17回福島県議会議員一般選挙が11月10日(木)に告示。東白川選挙区(定数1人)には、2期目を目指す現職の立原龍一さん(民主党・棚倉町)が唯一立候補し、無投票で再選しました。



左から：菊池さん、根本さん、狩野さん

## 長年の活動に感謝状

### 心配ごと相談員の菊池さん、登録ヘルパーの根本さん・狩野さん

心配ごと相談員の菊池久子さん(台宿)が県社会福祉大会会長感謝状、塙町社会福祉協議会登録ヘルパーの根本さく子さん(西河内)と狩野ルリ子さん(東河内)が県知事感謝状をそれぞれ受賞されました。表彰式は11月17日(木)、いわき市「いわき芸術交流館アリオス」で行われました。

菊池さんは、心配ごと相談員を平成14年12月から務めています。

根本さんと狩野さんは、平成13年8月から登録ヘルパーに在職。それぞれ長年にわたる献身的な活動が高く認められ、今回の受賞となりました。

なお、心配ごと相談は毎週月曜日(祝祭日は除く)、塙農村勤労福祉会館内で実施しています。お気軽にご相談ください。

#### ■問い合わせ

塙町社会福祉協議会  
☎ 4 3 - 2 1 5 4

## 長年にわたり統計調査に従事 県統計協会名誉会長表彰を受賞

大場貢正さん(川上)と藤田忠雄さん(大蔵)が福島県統計協会名誉会長(会長：佐藤雄平県知事)表彰を受賞されました。伝達式は11月18日(金)、塙農村勤労福祉会館小研修室で行われ、菊池基文町長がお二人それぞれに表彰状を伝達しました。大場さんは平成11年11月から、藤田さんは平成2年10月から町統計調査員を務め、さまざまな統計調査業務に従事してきました。長年にわたる活動が高く認められ、今回の受賞となりました。



左から：藤田忠雄さん、大場貢正さん



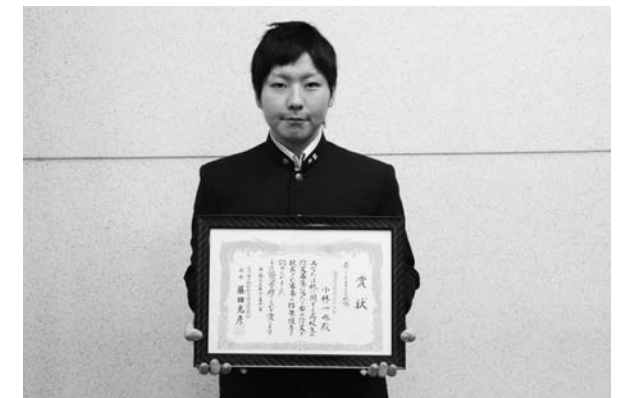
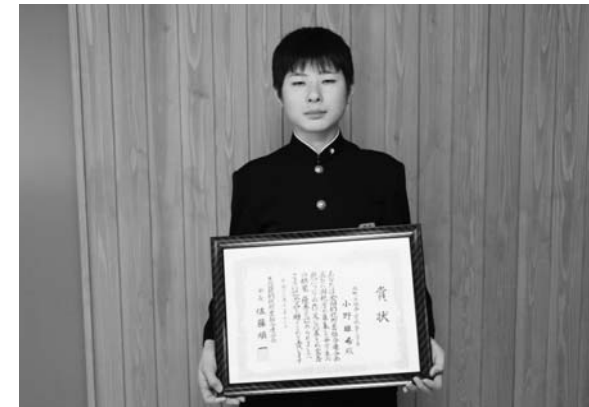
## 構造統計調査に貢献 大竹敏夫さん・感謝状を受賞

大竹敏夫さん(栄町)が、経済産業省大臣官房調査統計審議官からの感謝状を受賞されました。伝達式は11月9日(水)、町役場応接室で行われ、菊池基文町長が感謝状を伝達しました。これは、経済産業省所管統計調査に長年尽力された方に対するものです。大竹さんは、昭和53年6月から統計調査員を務めていて、今まで工業統計調査3回、商業統計調査に7回従事されました。さまざまな分野の実態・動向を知るための統計調査。今後も、その活動が期待されます。

## 使いみちを考える「税についての作文」

### 小野雄希くん・東北地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞

小野雄希くん(高中3年)が、中学生の「税についての作文」コンクールで東北地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。表彰伝達式は11月17日(木)塙中学校長室で行われ、緑川恵克・白河地区納税貯蓄組合連合会長から表彰状、木村澄男・塙町納税貯蓄組合連合会長から国税庁からの記念品が手渡されました。税金の使いみちについて、自分なりに真剣に考えたという雄希くん。税への理解がより深まったことでしょう。



## 暮らしを支える税金「税に関する作文」 小林一也くん・白河地区租税教育推進協議会長賞を受賞

小林一也くん(塙工高機械科2年)が、「税に関する高校生の作文」で白河地区租税教育推進協議会長賞を受賞されました。表彰伝達式は11月15日(火)、同校で行われ、梅村朗白河税務署長から賞状と記念品が手渡されました。小林くんは「暮らしを支える税金」という題で、「今回の大震災や災害で困っている人たちのために税金を役立ててほしい」などと、税に対する自分の考えを作文にしました。税への関心・理解がより深まったことでしょう。



## 「サンタおじさんのいねむり」

ルイズ=ファチオ/作  
前田三恵子/文  
柿本 幸造/絵  
偕成社

### ●ものがたり

クリスマスのプレゼントを配りにでかけるサンタさんに、奥さんがサンドイッチとコーヒーを渡しながらこう言いました。「まちにつくまで食べてはだめですよ。あなたはおなかがいっぱいになるとねむくなってしまいますからね」でも、案の定サンタさんは途中でひと休みして、サンドイッチとコーヒーを平らげ眠ってしまいます。

森のキツネが、眠っているサンタさんに気が付いて森の動物たちに知らせます。みんなで相談して、疲れているサンタさんはそのまま寝かせてあげて、森の動物たちからサンタさんにクリスマスプレゼントをあげることにしました。(何をプレゼントしたのかは、読んでからの楽しみです)

他人をいたわり、思いやる気持ちに心が温かくなります。雪の上にした手紙も、すてきなアイデアで優しい気持ちになる絵本です。



図書館情報

12月の  
テーマ

## クリスマスの本

図書館では毎月テーマを決めたそのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今月は、その中から一冊の本を紹介いたします。  
なお、希望する本が貸し出し中の場合、予約もできます。  
☎(43)0808





昨年の様子

## 新春をみんなで祝う

### 平成24年埴町賀詞交歓会を開催します

新年がさらに充実した年になるよう、また、幸多き年であることを願って、平成24年埴町賀詞交歓会を開催します。申し込みは不要ですので、どなたでもお気軽にご出席ください。

#### ■日時

平成24年1月5日(木) 午後6時～

#### ■場所

埴農村勤労福祉会館 大研修室

#### ■参加費

2,000円

#### ■問い合わせ

総務課総務係 ☎43-2111

町役場は年末12月28日(水)まで、年始は1月4日(水)からの業務になります。

#### ■証明書や戸籍謄本など

住民票、印鑑証明書などの各種証明書や戸籍謄本などの発行は、年末は12月28日(水)まで、年始は1月4日(水)から開始します。

なお、出生届や死亡届など戸籍関係の届け出は休日でも受け付けます。町役場宿直室までお越しください。

#### ■問い合わせ

町民課住民係

☎43-2114

## 役場の窓口業務は12月28日(水)まで

年始は1月4日(水)から

## 便利に生まれ変わります

### 埴駅前バス待合所の改築工事

老朽化した埴駅前バス待合所を改築します。代理の待合所を設置しますので、お間違えのないようご利用ください。

#### ■期間

平成24年3月末まで(予定)

#### ■代理のバス待合所

町役場駐車場内  
(プレハブ建物)

#### ■バス乗車場所

町役場駐車場内(庁舎前)

#### ■問い合わせ

まち振興課地域づくり係

☎43-2112

## 埴町地域公共交通活性化協議会委員 (敬称略)

任期：平成24年3月31日まで

#### ■会長

麻山 晃邦 副町長

#### ■副会長

山本一三男 埴町商工会長

#### ■幹事

佐々木 勇人 埴町青少年育成町民会議  
(埴地区推進協議会長)

遠藤 勢子 埴町婦人会

#### ■委員

阿部 由秋 福島交通株式会社  
白河総括営業所長

鈴木 岳 有限会社塔クシー代表取締役

蛭田 孝 有限会社ファミリータクシー  
代表取締役

石井 重好 国土交通省東北地方整備局  
郡山国道事務所調査課長

平野 功 福島県棚倉土木事務所長

安田 幸二 棚倉警察署交通係長

金澤 秀雄 埴町区長連合会長

菊地 哲也 埴町PTA連絡協議会長

星 輝明 埴町老人クラブ連合会長

角田 和義 埴町青少年育成町民会議  
(常豊地区推進協議会長)

菊池 正明 埴町青少年育成町民会議  
(片貝地区推進協議会長)

藤田 一男 埴町青少年育成町民会議  
(笹原地区推進協議会長)

金澤 尚 埴町青少年育成町民会議  
(高城地区推進協議会長)

芳賀とし子 埴町婦人会長

吉岡 正彦 ふくしま自治研修センター  
総括支援アドバイザー

兼平 悟 国土交通省東北運輸局  
福島運輸支局首席運輸企画専門官

荒井 浩之 福島県南地方振興局  
県民環境部主幹兼副部長

大竹 孝和 はなわ共栄会

勝田 宣宏 はなわよんく協同組合会長

鈴木 光明 埴町社会福祉協議会事務局長

加藤 洋志 埴厚生病院事務長



今年度第2回「埴町地域公共交通活性化協議会」が11月1日(火)、埴農村勤労福祉会館で開催されました。地域の生活の足となる公共交通の持続可能な運行形態を構築し、地域での多様な生活を支える基盤づくりを目指すこの協議会。委員など22人が出席して行われました。開会を前に、変更になった新委員4人に対し、麻山晃邦会長(副町長)が委嘱状を交付しました。

議事では、まず埴駅前バス待合所改築について協議。国の「きめ細かな臨時交付金」を活用して改築することを決定しました。このほか、「埴II片貝・矢塚線」の路線経路変更に関する協議、福島県生活交通対策協議会の分科会の申請について、ワーキンググループの設置について協議しました。

同協議会では、今後も地域の実情に応じた輸送サービスの実現に向け、協議を重ねていきます。

■問い合わせ  
まち振興課地域づくり係  
☎(43) 2112



# 地域の公共交通を考える

埴駅前バス待合所改築を承認 | 平成23年度第2回埴町地域公共交通活性化協議会を開催

## ひとり暮らしの高齢者を見守ります 友愛訪問を実施

町内の65歳以上ひとり暮らしの高齢者等を町長が訪問する「友愛訪問」が11月7日(月)から21日(月)まで5回に分けて行われました。菊池基文町長が、225人一人ひとりのお宅を訪問。慰問品を贈り励ましました。毎年行っているこの事業。町ではこのほか、高齢者見守り事業訪問員26人が1カ月に1回以上ひとり暮らしの高齢者を訪問し、安否確認や話し相手になるなどの活動をしています。

#### ■問い合わせ

健康福祉課高齢者支援係 ☎43-2227



菊池町長から慰問品を受け取る須藤トシ子さん(桜木町)



## 3月末の完成を目指します 養護老人ホーム「ユーハイムやみぞ」地鎮祭

養護老人ホーム「ユーハイムやみぞ」改築工事の地鎮祭・安全祈願祭が10月30日(日)、伊香字中妻地内の現地で行われました。町が管理・運営している養護老人ホーム「米山荘」は来年度、社会福祉法人「誠慈会(藤井俊宥理事長)」に移管されますが、その受け入れ施設となるものです。関係者40人が出席し、藤井理事長などが鍬入れの儀、菊池基文町長などが玉串をささげ工事の早期完成と無事故などを祈願しました。現在、来年3月26日を工期に工事が進められています。



# 松本 淳選手 区間賞に輝く

## 第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 - Fukushima 駅伝

### 塙町チーム紹介 (敬称略)

■監督	青砥 利一(棚倉消防署塙分署)
■コーチ	羽田 丈夫(塙厚生病院) 羽田 友哉(塙町役場)
■支援コーチ	小林 研二(塙中) 山本 真二(塙中) 坂内 俊介(塙中) 坪 正子(塙中)
■選手	1区 菊地 春香(塙中3年) 2区 鈴木 貴之(学法石川高1年) 3区 鈴木 祐介(塙中3年) 4区 藤田 哲史(塙中3年) 5区 割貝 拓矢(塙中2年) 6区 近藤 誉之(いわき養護学校教員・主将・ふるさと選手) 7区 白鳥 雅樹(塙中3年) 8区 生方 健登(塙中3年) 9区 近藤 有希(塙中2年) 10区 大野 剛(東海大4年) 11区 佐藤 瑞穂(学法石川高1年) 12区 鈴木 慎也(修明高1年) 13区 岡崎 洵(塙中1年) 14区 近藤 晃佑(塙中3年) 15区 佐藤 葵(塙中3年) 16区 松本 淳(愛知製鋼・ふるさと選手) 補欠 藤田 健(はなわみらいスポーツクラブ・ふるさと野) 補欠 大瀧 裕史(塙中2年) 補欠 八幡 俊平(塙中2年) 補欠 大越 旭(塙中2年) 補欠 金沢 祐香(塙中2年)



あきらめず最後まで頑張った選手とスタッフの皆さん。

11月20日(日)、第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が行われ、塙町チームは、6時間16分13秒のタイムで総合45位、町の部24位という成績でした。なお、アンカー(16区)をつとめた松本淳選手は、区間賞(町の部)を獲得しました。

塙町チームは11月10日(木)、塙町公民館で結団式を行い、大会に向け練習を重ねてきました。そして迎えた本番では、スタート地点・白河市総合運動公園陸上競技場から、ゴール地点・福島県庁前までの16区間96.5キロを力走。「ひとりにはみんなのために、みんなはひとりのために」を合い言葉



区間賞を獲得した松本 淳選手

### 頑張れ 塙町チーム!

に、選手一丸となってタスキをつなぎました。中学生主体の若いチームでレースに臨んだ「塙町」。昨年の成績を上回ることはできませんでしたが、みんな最後まであきらめずに走り抜きました。

この経験を生かし、来年以降の飛躍が期待されます。

# 復興はなわ 人の輪 花の輪 感謝の輪

## 第22回塙町産業祭

町の一大イベント「第22回塙町産業祭」が11月23日(水)勤労感謝の日、塙小学校で行われました。

片貝小児童による開会宣言の後、関係者によるテープカットが行われ開幕。会場には約50の露店が建ち並んだほか、JA直売所と道の駅はなわのコラボレーション企画・軽トラ市を開催。ステージでは吹奏楽、太鼓、大正琴などの各演奏や、よさこい踊り、大飯食い競争、復興2、500個の大投げもち大会などさまざまなイベントが行われました。また、家族がお互い作品の展示や木工教室、塙工業高校作品展示・体験製作などもありました。午前11時30分からは開会セレモニーがあり、その後ダリアづくりコンテストおよびダリア写真コンテストの表彰式が行われました。

大規模改修工事のため例年よりやや縮小された今年の会場でしたが、多くの人出でにぎわい、22回目を迎えた今年の産業祭も大盛況でした。



①大好評の大投げもち大会 ②会場を盛り上げたよさこい踊り ③新鮮野菜が盛りだくさん(軽トラ市) ④今や塙の名物・踊り流し ⑤華麗な演奏に酔いしれました(葛飾吹奏楽団) ⑥女性もがんばった大飯食い競争

### 住民基本台帳 閲覧状況の公表

住民基本台帳法の改正により、毎年1回以上、住民基本台帳の閲覧状況を公表することが義務化されています。これにより、平成22年11月1日から平成23年10月31日までの閲覧状況を公表します。

閲覧請求をした国、地方公共団体等の名称	請求事由の概要	閲覧の年月日	閲覧にかかる住民の範囲
自衛隊福島地方協力本部 白河地域事務所長 1等陸尉 吉田 勤	自衛官の募集に伴う広報	平成22年11月22日	町内の ・平成5年4月2日~平成6年4月1日生まれの子 ・平成8年4月2日~平成9年4月1日生まれの子

問い合わせ 町民課住民係 ☎ 4 3 - 2 1 1 4





# 激走！ 第21回塙代官カップ 水上俵引き競争

塙町産業祭の名物イベント「第21回塙代官カップ！水上俵引き競争」が、塙小学校東側の久慈川で行われました。今年は、メイン・女性・仮装レースに13チームが出場。1チーム4人編成で、3つの俵が乗ったイカダ（約65\*<sub>□</sub>）を引くレース。メインの部は120<sub>㍓</sub>、女性と仮装の部は100<sub>㍓</sub>のコースで速さを競い、大激走が繰り広げられました。

当日は気温13度・水温8度という中、優勝を目指し頑張る選手たちに観客からは惜しめない拍手と声援が送られていました。ラジオ福島の生放送が行われた今回の水上俵引き競争。競馬中継でおなじみの手塚伸一アナウンサーによる実況中継があり、会場は大いに盛り上がりました。

①水しぶきを豪快に上げてスタート ②代官カップ目指し激走！ ③レースに使うイカダ・俵は重さ約65\*<sub>□</sub>。④ラジオ福島アナウンサーの名実況が会場をさらに盛り上げる ⑤応援にも力が入ります ⑥やっとのことでゴール ⑦仮装の部はパフォーマンスも大事

## 塙代官メインレース

- 優勝 伊香若組（塙町）
- 準優勝 NICE（ナイス）（東京都）
- 第3位 Golden Age（福島市）
- 第4位 風神（塙町）

## 女性の部

- 優勝 NICE（ナイス）な女たち（東京都）
- 第2位 塙町商工会女性部（塙町）

## 仮装の部

- 優勝 ダイジユクのおきて（塙町）
- 第2位 ビューティフル母ちゃんず（塙町）
- 第3位 只今診察中（塙町）



どのチームも最後まで  
がんばりました！

**第21回  
水上俵引き競争  
結果**

メインレース優勝の伊香若組



## 農産物などの放射線量を知る 放射性物質測定を実施しています

現在町では、農産物・土壌・飲料水などの放射能を測定する「ベクレルモニター」を導入し、検査を実施しています。

### ■検査品目

自家用野菜、一般家庭にある農産物、飲料水（簡易水道は除く）、母乳、土

※出荷する農産物などについては、生産者個人で他の検査機関でのお申し込みになります。

### ■検査項目

ヨウ素131  
セシウム134・137（20ベクレル以下は検出限界値以下）

### ■検査費用 無料

### ■検査対象者

埴町に住民票を有する方またはそれらにより組織された団体

### ■受付方法および検査検体について

○埴町放射性物質測定検査場（板庭・元薩摩酒造埴蒸留所）へ

電話で予約が必要です。なお、1回に予約できるのは、1世帯2検体です。

☎43-1050

受付時間 午前9時～午後5時（月～金曜日、祝日除く）

○検査は、地域ごとに曜日を指定して実施します。（1日あたり、16検体を検査）

○検査結果は、後日申請者へお知らせします。

### ■問い合わせ

まち振興課農林振興係 ☎43-2118

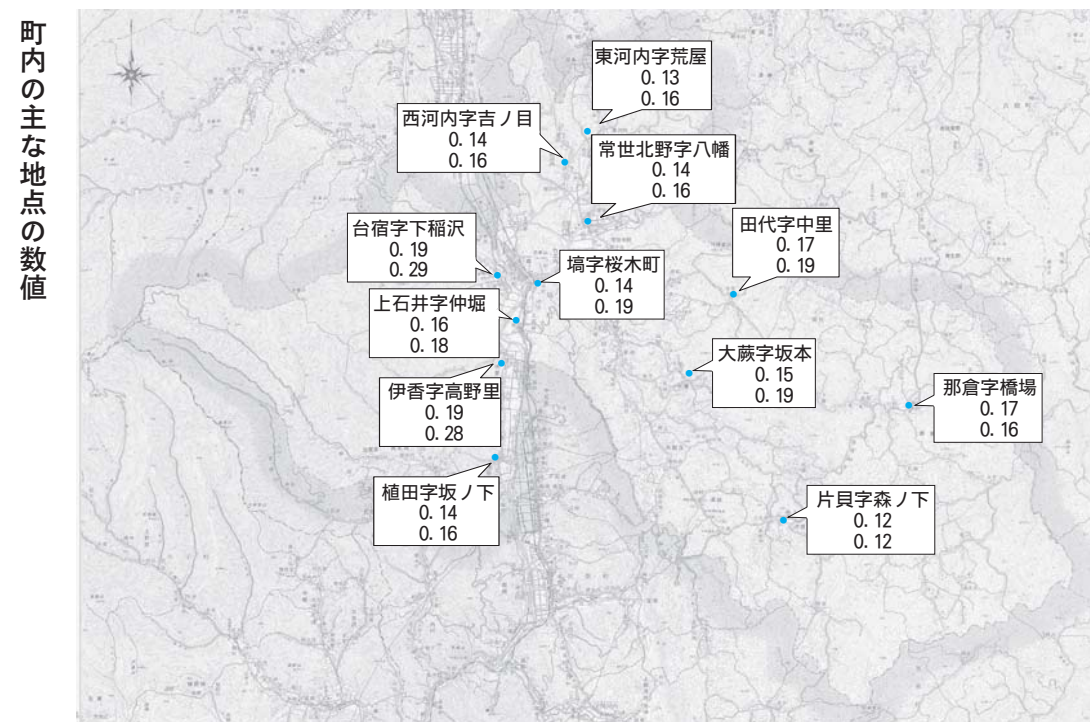


10月14日に行われた職員対象の放射線量調査説明会

## 550カ所一町内各地の放射線量を調査

町では、職員が町内550カ所において放射線量を調査しました。調査は、地上1mと地上1mを計測。1測定の計測は、放射線量計の数値を5回読み取り、その平均値をその測定の放射線量としています。なお、地図上に掲載したものが次のURLに掲載および埴町のホームページからも見ることができます。

<http://portal.cyberjapan.jp/map/sample.php?no=814>



町内の主な地点の数値

上段は地上1m、下段は地上1mで計測した数値

## がんばろう！はなわ 必ず咲かせる 復興スイセン



いわき市田人町・緑川<sup>きよし</sup>さんから譲り受け、道の駅はなわ河川敷に植えられた20万球のスイセン。9月21日の台風15号によりほぼ流されてしまいましたが、緑川さんから再びスイセンの球根（1万個）を譲り受け、二度目の植え付けを行いました。11月8日（火）の植え付けには、事情を知った町民がスイセンの球根を持ち寄り、町臨時職員や町職員の手によって植えられました。「今度こそ咲かせる」一田人町と埴町を結び、復興への強い願いが込められたスイセン。黄色いじゅうたんが広がる光景が今から楽しみです。

9月21日の台風15号により被害を受けた「道の駅はなわ河川敷」。元の美しい景観を取り戻すための環境整備ボランティア作業が11月8日（火）に行われました。埴町観光協会・はなわふるさと物産直売センター組合（鈴木茂組合長）・道の駅はなわ物産組合（桜岡広明組合長）の関係者60人が参加して実施。河川敷に散らばった無数の石を拾って、軽トラックの荷台やコンテナ・袋に入れ運ぶ作業を繰り返し何度も行いました。「元気な道の駅はなわを取り戻す」一参加者は、願いを込めながら作業を行っていました。



## 元の美しい景観を取り戻す

## 積算放射線量を測定

### 電子式個人線量計の貸し出し

通勤・通学で町外に出る機会が多い方や放射線量が高い地域で作業される方などに、積算放射線量を測定する「電子式個人放射線量」を貸し出します。

■対象者 町内に住んでいる方

■貸出期間 1カ月間

■貸出場所・時間 役場窓口 午前8時30分～午後5時15分

■問い合わせ

健康福祉課健康推進係

☎43-2115



現在、各行政区に空間放射線量測定器を貸し出しています。自分で放射線量を調べる方は、行政区長から測定器を借りることができます。

■貸出回数

各行政区に1台

※世帯数が100戸以上の行政区は2台

■貸出期間

12月中旬まで

■貸出方法

各行政区長にお問い合わせください。

■問い合わせ

まち振興課地域づくり係

☎43-2112

※なお、総務課で引き続き測定器の貸出しを行っていますのでご利用ください。

各行政区に「空間放射線量測定器」を貸し出しています



# 町人事行政の運営状況

埴町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第3条の規定に基づき、職員数や給与、サービスなどの状況について公表します。

■問い合わせ 総務課総務係 ☎43-2111

## 1. 職員数および任免の状況

### ●部門別職員数の状況（各年度4月1日現在）

機関名	職員数			対前年度増減数	増減理由
	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
町長部局	85人	82人	80人	△2人	退職者△2人
議会事務局	1人	1人	1人		
教育委員会	26人	24人	26人	2人	新採用2人
選挙管理委員会	1人	1人	1人		
監査委員会事務局	1人	1人	1人		
農業委員会	1人	1人	1人		
合計	115人	110人	110人		

※職員数は、一般職に属する職員数です。

### ●職員数適正管理の数値目標および進ちょく状況等（各年度4月1日現在）

区分	定員適正化計画スタート前年度職員数	増減職員数					定員適正化修了時職員数
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
定員適正化目標	平成18年度 124人	124人	123人	121人	117人	114人	114人
定員適正化実績		-	121人	119人	115人	110人	110人
対前年度増減数		-	△3人	△2人	△4人	△5人	△14人

### ●職員の採用（平成23年度）および退職（平成22年度）の状況

区分	採用	退職				合計
		定年	勸奨	その他		
一般職	2人	0人	1人	1人	2人	
合計	2人	0人	1人	1人	2人	

## 2. 職員の給与の状況

### ●人件費の状況（普通会計）

住民基本台帳人口 平成23年3月31日現在	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率 (B/A)
9,926人	5,974,885千円	886,630千円	14.8%

※人件費には、特別職に支給される報酬等も含まれています。

### ●職員給与費の状況（平成23年度当初予算）

	給与費			
	給料	期末・勤勉手当	その他の手当	計
平成23年度	375,564千円	135,529千円	52,555千円	563,648千円

### ●初任給および経験年数別・学歴別平均給与月額（平成23年4月1日現在）

区分	初任給	経験年数				
		採用2年経過後	10年	15年	20年	
一般行政職	大学卒	175,100円	187,200円	244,700円	293,200円	327,600円
	高校卒	142,500円	151,000円	208,800円	244,700円	293,200円

### ●特別職の報酬等の状況（平成23年4月1日現在）

区分	給料月額	期末手当
町長	780,000円	平成22年度支給割合 2.90月分
副町長	624,000円	
教育長	589,000円	
議長	320,000円	
副議長	243,000円	
議員	222,000円	

### ●職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額（平成23年4月1日現在）

区分	一般行政職
平均年齢	44歳3月
平均給料月額	339,600円
平均給与月額	386,500円

## ●主な手当の種類とその内容

期末・勤勉手当（一般職）	○期末手当 2.55月分 ○勤勉手当 1.35月分 ※役職加算5%~15%、管理職加算なし
退職手当	勤続35年の場合 ○自己都合 47.5月分 ○定年・勸奨 59.28月分
時間外勤務手当	○平成22年度支給実績 19,714千円 ○平成22年度職員1人当たり平均支給年額 334千円
扶養手当	○配偶者・・・13,000円 ○扶養親族たる子父母等・・・1人につき6,500円 (配偶者がいないときは、1人については11,000円)
住居手当	○借家借間・・・27,000円上限
通勤手当	○交通機関などの利用者・・・55,000円までは全額、55,000円を超えた場合、その超えた額の1/2の額を55,000円に加えた額 ○自動車等使用者・・・通勤距離に応じて、2,300円~45,800円
特殊勤務手当	○危険、不快、不健康または困難な業務に従事する職員に対して支給 行旅死病人取扱手当 1日5,000円 防疫作業手当 1日500円
管理職手当	○職に応じた額(定額)



## 3. 職員の勤務条件の状況

### ●勤務時間

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	午前8時30分
終了時刻	午後5時15分

### ●休暇制度

休暇の種類	付与日数
年次有給休暇	年ごとに20日間付与され、20日を超えない範囲内の残日数は、翌年度に繰り越し可能 ※平成22年平均取得日数・・・9.9日
産前産後休暇	産前8週間、産後8週間以内
配偶者の出産休暇	3日以内
育児休暇	1日2回各30分以内
子の看護のための休暇	5日以内
忌引休暇	続柄により1~10日以内
夏季休暇	5日以内
ボランティア休暇	5日以内
結婚休暇	10日以内

## 7. 職員の福祉と利益の保護の状況

(平成22年度)

### ●健康診断等の受診状況

区分	受診者数(延べ)
定期健康診断	248人
人間ドッグ	0人

### ●公務災害等の状況

区分	件数
公務災害	0件
通勤災害	0件

## 8. 公平委員会の業務の状況（平成22年度）

区分	件数
勤務条件に関する措置の要求の状況	0件
不利益処分に関する不服申立ての状況	0件

## 4. 職員の分限処分と懲戒処分の状況（平成22年度）

- 分限処分・・・1件
- 懲戒処分・・・2件

## 5. 職員のサービスの状況（平成22年度）

- 服務義務違反・・・0件

## 6. 職員の研修の状況（平成22年度）

### ●研修状況

区分	受講者数
ふくしま自治研修センター	55人
その他の研修	13人
計	68人





# 保健だより

## 施設健診を実施します 国保の方が対象です

「国保」の方で、町の総合健診を受けられなかった方を対象に、「特定健診」および「肺がん検診（胸部レントゲン）」を実施します。また、40歳以上の方は、「胃バリウム検査」もしくは胃カメラ検査での「胃がん検診」と「大腸がん検診」も受けられます。

希望される方は、電話でお申し込みください。なお、先着順ですでお早めをお願いします。

### 健診日程（平成24年）

- ※1日5人まで（先着順）
- 1月23日(月)・24日(火)・25日(水)・26日(木)・27日(金)・30日(月)・31日(火)
- 2月21日(火)・22日(水)・23日(木)・24日(金)・27日(月)・28日(火)・29日(水)

■健診会場 塙厚生病院

■受付時間 当日午前8時30分まで

### 健診の種類

①特定健診および胸部レントゲン  
40歳～74歳で、今年9月の総合健診を受けていない方。健診費用は無料です。

②大腸がん検診  
40歳以上で、今年大腸がん検診を受けていない方。検診費用は500円です。

※お手元に「無料クーポン券」が届いている方は、検診費用は無料です。  
※「無料クーポン券」の有効期間は、平成24年2月29日までです。

③胃がん検診  
40歳以上で、今年胃がん検診を受けていない方。検診費用は2,000円です。

※「胃カメラ検査」か「胃バリウム検査」のどちらかを選んでください。

■申し込み期間 12月12日(月)～22日(木)まで

■申し込み・問い合わせ  
健康福祉課健康推進係  
☎43-2115

## 70歳以上の方は無料で受けられます 肺炎球菌ワクチン接種

肺炎球菌による肺炎を予防するには、予防接種が有効です。肺炎は日本人の死因の第4位。肺炎は細菌やウイルスなどが原因で引き起こされますが、その中で最も多い原因が肺炎球菌といわれています。

肺炎球菌ワクチン接種は、予防接種法に基づかない任意の予防接種です。医師の説明を受け、十分に納得した上で接種を受けてください。

■対象者  
福島県内に住所を有する方で、70歳以上の方

■費用 無料

■期間 平成24年3月31日まで

※ただし、接種予定人数(約19万人分)になり次第終了します。

※申し込みは、医療機関へお願いします。

■問い合わせ  
健康福祉課健康推進係  
☎43-2115

## 「家族のためのうつ病教室」を開催します

うつ病についての知識や接し方の基本を学ぶとともに、日ごろの思いをお互いに話していただく場を開催します。

### 日程（平成24年）

- 1月18日(水)・25日(水)
- 2月1日(水)

■時間 午後1時30分～午後3時30分

■内容 講話、体験発表、家族交流

■場所 県南保健福祉事務所 2階小会議室

■対象  
「うつ病」の治療を受けている方の家族

■申し込み・問い合わせ  
県南保健福祉事務所 障がい者支援チーム  
☎0248-22-5649



## 平成24年度塙保育園入園児を募集します

### 入園対象児

6カ月児から3歳児(平成24年4月1日生まれ)まで

### 募集定員 70人

### 募集期間

12月1日(木)から平成24年1月6日(金)まで

### 受付場所 健康福祉課

### 入園資格

次のいずれかに該当する家庭。ただし、①～⑤の場合で、母親以外の方が乳幼児を保育できる場合は除く。

①家庭外労働：母親が昼間、家

- 庭の外で働いていて、乳幼児の保育ができない
- ②家庭内労働：母親が昼間、家庭で家事以外の仕事をしていて、乳幼児の保育ができない
- ③母親がいない家庭
- ④母親の出産など
- ⑤病人の看護など
- ⑥家庭の災害
- ⑦①～⑥以外で乳幼児の保育が困難なとき

### 提出書類

- ①入園申込書
- ②母親が仕事をしていることを

## 平成24年度幼稚園入園児を募集します

### 募集定員

塙幼稚園 80人・5歳児 若干名

### 常豊幼稚園

4歳児 30人・5歳児 若干名

### 笹原幼稚園

4歳児 50人・5歳児 若干名

### 募集期間

12月13日(火)から12月20日(火)まで

### 入園資格

○4歳児：平成19年4月2日か

ら平成20年4月1日の間に生まれた人

○5歳児：平成18年4月2日から平成19年4月1日の間に生まれた人

### 提出書類

入園願書に住民票抄本を添えて、教育委員会学校教育課または役場窓口提出してください。

願書は、教育委員会・役場窓口

### 預かり保育

に留意してあります。

### 預かり保育

に留意してあります。

証明する書類  
③平成24年1月2日以降に塙町に転入された方は、平成23年度市町村民税、所得税の分かる書類

※①・②は、町役場窓口および塙保育園に用紙があります。

■手続き・問い合わせ  
健康福祉課福祉係

☎(43)2115

塙保育園

☎(43)0377

### 問い合わせ

教育委員会  
学校教育課学校教育係

☎(43)4050





# はなわふれあい スポーツクラブ通信

## 12月号 toto

はなわふれあいスポーツクラブでは、会員を随時募集しています。スポーツでさわやかな汗を流しませんか。詳しくは下記までご連絡ください。

### 今後の主な活動予定

#### 一般対象

- グラウンド・ゴルフ  
日時：毎週水曜日 10:00～11:30  
会場：埴町営体育館 アリーナ  
※12/28(水)はお休みします。
- 卓球  
日時：毎週木曜日 10:00～11:30  
会場：埴町営体育館 剣道場  
※12/29(木)はお休みします。
- バドミントン  
日時：毎週木曜日 19:00～21:00  
会場：埴町営体育館 アリーナ  
※12/29(木)はお休み
- カローリング  
日時：毎週金曜日 9:30～11:30  
会場：埴町営体育館 アリーナ  
※12/23,12/30はお休みします。
- 卓球教室  
日時：12/15,12/22(木)  
19:00～20:30  
会場：埴町営体育館 剣道場  
内容：講師を招いて卓球指導
- カローリング大会  
日時：12/17(土) 9:00～13:00  
会場：埴町営体育館

#### イベント

- ノルディックウォーキング講習会  
日時：12/4(日) 9:30～16:00  
会場：埴町営体育館 及び埴町内
- からだのためになる講習会  
「骨盤とスポーツ選手」  
日時：12/14(水) 19:00～20:30  
会場：埴中学校体育館  
※9/21(水)に台風により延期になっていた講習会です。

#### 女性対象

- きれいスタジオ(ウイナーづくり)  
日時：12/18(日) 午後(時間調整中)  
会場：埴町公民館 調理室

#### 男性対象

- 男前講座(門松づくり)  
日時：12/17(土) 13:30～16:00  
会場：埴町公民館

#### 子ども対象

- キッズクラブ(基礎運動教室)  
日時：毎週月曜日  
園児コース 15:15～16:05  
小学生コース 16:10～17:00  
会場：埴町営体育館アリーナ  
※12/26(月)はお休みします。

#### サークル活動

- スマイル(バドミントン)
- さわやかクラブ(レクダンス)
- バレーボール教室
- 6区卓球サークル
- 埴野球教室
- 埴町インディアカ協会
- 奥州ずっこけ隊(よさこい)
- 植田バレー

はなわふれあいスポーツクラブ  
URL <http://hanawa-fsc.jp>  
mail [sgs@town.hanawa.fukushima.jp](mailto:sgs@town.hanawa.fukushima.jp)  
埴町大字埴字桜木町80(埴町公民館内)  
☎43-2644 FAX43-1883



携帯電話から  
今すぐアクセス!



## 平成24年成人式

成人される方の新しい門出を祝い励ますため、成人式を挙行政します。

日時：1月8日(日)午前11時(受付10時より)  
会場：埴農村勤労福祉会館(役場北側)  
対象：平成3年4月2日から平成4年4月1日の間に生まれた方で、埴町に住民登録してある方および埴町出身の方

まだ成人式への申し込みがお済みでない方は、お早めにご連絡ください。12月9日(金)必着でお願いします。

#### 申込方法

##### ○埴町に住民登録してある方

埴町公民館から「往復はがき」で案内状を出していますので、必要事項・出欠を記入の上、返信してください。

##### ○町外に住民登録してある埴町出身者

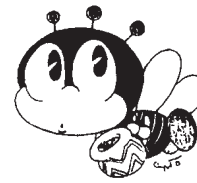
埴町公民館および各行政区長宅にある「出席届」を埴町公民館に提出してください。

## ながよしルーム参加者募集

今回は「クリスマス\*ボウリング大会」です。12月は恒例の、「クリスマス\*ボウリング大会&カレーライスの食事会」です。ボウリングや子育て話を楽しんだ後は、子育てサポーターさん特製の「カレーライス」をみんなで食べましょう。\*なかよしルームは、0歳から幼稚園入園前のお子さんとその保護者を対象にした子育て講座です。どなたでもお気軽にご参加ください。初参加者、大歓迎です。

日時：12月9日(金) 午前9:30から  
場所：埴町公民館 1階和室  
費用：1家族 200円(食材代)  
持ち物：飲み物・おやつ・皿・スプーン  
(ふだん使っている食器類で結構です)

申込期限：12月7日(水)まで  
申し込み：埴町公民館 ☎43-0320



# マナビイ はなわ

## ～埴町生涯学習だより～ 12月号

発行：埴町教育委員会生涯学習課

問い合わせ

■生涯学習課

☎ 43-2644

■埴町公民館

☎ 43-0320

■まナビとファインダー URL

<http://www.manabito.fks.ed.jp/win.html>



▲堂々と主張発表した児童・生徒の皆さん

審査員特別賞 ※敬称略  
八幡 千尋(片貝小学校6年)

最優秀賞 ※敬称略  
○小学校の部  
齊藤 宏樹(埴小学校6年)

○中学校の部  
佐藤 夏紀(埴中学校1年)

○高等学校の部  
佐藤 佑紀(白河高校1年)

11月12日(土)に開催された埴町青少年の主張大会では、町内の小・中学生および高校生の14人が参加し、それぞれ素晴らしい主張発表を行いました。どの発表も甲乙つけがたいものでしたが、厳正な審査の結果、最優秀賞に3人、審査員特別賞に1人が選ばれました。なお、主張発表後には、奥州ずっこけ隊によるよさこい踊りが披露され、大いに場を盛り上げていただきました。

### 第27回 埴町青少年の主張大会 発表者(敬称略・発表順)

氏名	学校・学年	テーマ
佐藤 遥崇	常豊小学校6年	家族の大切さ
鈴木 真由	笹原小学校6年	東日本大震災を経験して
八幡 千尋	片貝小学校6年	たくさん思い出とともに
鈴木 雄大	高城小学校6年	東日本大震災で知った家族のきずな
齊藤 宏樹	埴小学校6年	大切な命
佐藤 夏紀	埴中学校1年	将来の夢
下重 陽	埴中学校2年	私が考える「平和」
吉成 綾恵	埴中学校3年	私を変えてくれたバスケット
松本 康佑	白河高校1年	スポーツがあるということ
岩永 祐輝	埴工業高校3年	ふるさとについて思うこと
益子 まい	修明高校2年	学校生活で学んでいること
佐藤 佑紀	白河高校1年	「いま」考える情報のあり方
大野 智美	光南高校3年	チアリーダー部で学んだこと
松本 恵	学法石川高校3年	命の大切さを今



▲奥州ずっこけ隊によるよさこい踊り(アトラクション)

# 私たちの思いを今ここに 第27回 埴町青少年の主張大会



# 情くらしの報

役場の電話番号  
☎0247-43-2111(代表)  
役場のFAX  
0247-43-2116  
町のホームページアドレス  
http://www.town.hanawa.fukushima.jp/  
町のメールアドレス  
soumu@town.hanawa.fukushima.jp

※意見や要望のある方はご利用ください。

【直通電話番号】  
総務課 ☎43-2111  
まち振興課 ☎43-2112  
☎43-2118  
町民課 ☎43-2113  
☎43-2114  
健康福祉課 ☎43-2115  
包括支援センター  
☎43-2224  
☎43-2227  
まち整備課 ☎43-2117  
水道課 ☎43-2148  
会計室 ☎43-2149  
老人ホーム米山荘  
☎43-0294  
埴保育園 ☎43-0377  
議会事務局 ☎43-2150  
農業委員会 ☎43-2119  
教育委員会  
学校教育課 ☎43-4050  
生涯学習課 ☎43-2644  
公民館 ☎43-0320  
図書館 ☎43-0808  
給食センター ☎43-0188  
東白衛生組合 ☎43-0378

## 相談

### 貸金業・多重債務に関する相談窓口

福島財務事務所

借金を抱えお悩みの方からの相談に応じます。一人で悩まず、まずはご相談ください。

### 相談内容

○返済しきれない借金に関する  
○貸金業者やいわゆる「ヤミ金融」に関する  
○不正に利用されている預貯金口座に関する

### 相談窓口

福島財務事務所 理財課

福島市松木町13-2

### 受付時間

月曜日～金曜日

(祝祭日、年末年始除く)  
午前8時30分～午後5時15分

### 問い合わせ

多重債務相談窓口直通

☎024(533)0064

福島財務事務所理財課

☎024(535)0303

### 原子力損害賠償に係る「巡回法律相談」

県南地方振興局

県では、原子力損害賠償について弁護士による巡回法律相談を実施しています。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。

### 日時

11月24日(木)

12月8日(木)

12月14日(水)

### 時間

午後1時30分～午後3時30分

### 場所

白河商工会議所「会議室」

### 対象者

原子力事故に伴い損害を受けている個人または事業者

### 予約受付電話

相談時間は30分で、事前の予約が必要です。

☎024(523)1501

### 問い合わせ

県南地方振興局

復興支援・地域連携室

☎0248(23)1524

### 被災者専用フリーダイヤル 日本司法支援センター(法テラス)

東日本大震災の被災者の法的支援に特化した電話窓口として、「震災法テラスダイヤル」を設けました。二重ロー

ンや相続の問題をはじめ、被災者が直面する法的な問題について、解決に役立つ各種法律制度などの情報を電話で提供します。

### フリーダイヤル

震災 法テラスダイヤル

☎0120-078309

### 問い合わせ

日本司法支援センター福島地方事務所

☎050(3383)5540

### 震災に伴うローン返済などに関する相談

個人版私的整理ガイドライン  
個人債務者の私的整理に関するガイドラインに基づき、

### 個人版私的整理ガイドライン

個人債務者の私的整理に関するガイドラインに基づき、問い合わせや相談を受け付けます。住居や勤務先、事業所取引先などが震災の影響を受け、借り入れが返済不能など

## お知らせ

### 合併処理浄化槽の設置には補助があります

水道課

町では、公共下水道や農業集落排水施設の整備区域外で合併処理浄化槽を設置する場

### 新しい電話帳をお届けします(現在お使いのものは回収します)

タウンページセンター

NTT東日本では、12月中旬に順次、新しい福島県版の電話帳を各ご家庭や事業所へお届けします。現在お使いの電話帳は、お届けの際に回収します。

ですので配達員へお渡しください。回収した電話帳は、地球環境保護や資源の有効活用

のため、新しい電話帳の原材料になります。

### 問い合わせ

タウンページセンター

☎0120(506)309

※不在などで配達員に電話帳を渡せなかった場合、ご連絡いただければ、後日改めて回収に伺います。

平成24年2月29日納期限

### 問い合わせ

県南地方振興局県税部

☎0248(23)1517

### 地デジ視聴について相談コーナーを設置します

デジサポ福島

福島県のアナログ放送は、来年3月31日に終了します。地デジの準備をお急ぎください。

デジサポ福島では、相談コーナーを設置し、地デジアドバイザーが個別の相談に対応します。事前申し込みは不要ですので、お気軽にご相談ください。

### 開催日時

12月7日(水)～9日(金)

午前10時～午後4時

### 場所

埴農村労働福祉会館小研修室

### 内容

地上デジタル放送視聴に関するの総合相談。  
※デジタル放送がまだ視聴できないNHK放送受信料全額免除世帯・市町村民税非課税世帯・半壊以上の被災された世帯の方を対象としています。

### 問い合わせ

デジサポ福島

☎024(505)1010

平日 午前9時～午後9時

土日祝 午前9時～午後6時

台、予算の範囲内において、人槽区分により補助します。

また、既存の単独処理浄化槽を撤去して合併処理浄化槽を設置する場合は、撤去費用補助として6万円、くみ取り便槽を撤去して設置する場合は3万円を加算します。

### 補助金額

○5人槽 354,000円

○7人槽 437,000円

○10人槽以上 672,000円

### 注意事項

平成23年度の補助基数は、残りわずかです。合併処理浄化槽の設置をお考えの方は、必ず事前に水道課へご相談の上、お早めにお申し込みください。

※水質保全のため、公共下水道

道および農業集落排水の整備区域の方は、各施設への早期接続をお願いします。

### 問い合わせ

水道課農業集落排水係

☎(43)2148

### 個人事業税の課税時期が確定しました

県南地方振興局県税部

東日本大震災に伴う納期限等の延長措置により、納税通知書の発付を延期していた個人事業税。課税の時期が確定しましたのでお知らせします。

### 第1期分

12月発付

平成24年1月4日納期限

### 第2期分

平成24年2月発付

## おくやみ申し上げます

10月16日から11月15日までの届け出亡くなられた方

氏名	年齢	住所
近藤 ナヨキ	89歳	常世北野
田母神 弘	79歳	植田
小貫 憲男	76歳	片貝
鈴木 イサ	90歳	真名畑
鈴木 康夫	96歳	台東
河野 通良	72歳	東河
須藤 清	84歳	大田
班目 シヅコ	82歳	大田
青砥 恵	68歳	台
鈴木 重孝	83歳	ユハイム
緑川 ツネ	99歳	ユハイム
岡部 友之	87歳	川
下重 栄次郎	89歳	川
戸井田 キヨ子	80歳	台
鈴木 末雄	79歳	大湯
水野 甲子雄	80歳	片
大野 庄治	88歳	世北野
下重 徳子	90歳	常世北野

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口にお申し出てください。  
※「こんにちは赤ちゃん」は31ページに掲載しております。

## 東白クリーンセンター 日曜日のゴミの直接搬入

■受付日 毎月第2・第4日曜日  
※土曜日・祝日は受け付けていませんのでご注意ください。  
■時間 午前8時30分～午前11時45分  
午後1時～午後3時30分

## 年末年始のゴミの直接搬入

■年末 12月30日(金)まで  
■年始 1月4日(水)から  
■時間 午前8時30分～午前11時45分  
午後1時～午後4時15分

### 問い合わせ

東白クリーンセンター(東白衛生組合)  
☎43-0378

## 電気毛布・電気ミニマット・電気カーペットをご使用の皆さまへ

## 愛情点検で快適な冬を!

長年ご使用の暖房器具で、経年劣化が原因の火災事故が起きています。事故を未然に防ぐため、日ごろから製品とその周辺のチェックを行いましょう。少しでもおかしいと思ったら、ご使用を中止してください。

### 問い合わせ

一般社団法人日本電機工業会  
暖房器専門委員会  
☎03-3556-5887





# TOWN TOPICS

# まちの話題

あなたの地区の話題を提供してください。  
取材に伺います。  
※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、  
総務課☎43-2111までご連絡ください。



## 大切な場所「ふるさと・はなわ」

—東京鳩会「ふるさと訪問バスの旅」—

東京鳩会(吉成安男会長)の「ふるさと訪問バスの旅」が10月29日(土)・30日(日)に行われました。会員のほか家族・友人など33人が参加して行われ、バスで上野を出発。鳩町に到着後、片貝地区でトマトの収穫体験を実施しました。その後、湯遊ランドはなわのダリア園を見学。夕方からは、同施設で懇親会を開催し宿泊しました。2日目は、道の駅はなわで買い物などを楽しみ、帰路へと着きました。「ふるさとを応援しています。がんばろう!はなわ」と、最後に同会から熱いメッセージをいただきました。



## 地域のお年寄りと楽しく交流

—高城小学校「郷土教室」—

高城小の郷土教室が11月22日(火)、同校で行われました。全児童が参加し、木工・竹細工、編み物、わら細工、あやとりなどの昔遊びを地域の老人会(伊香高砂会・植田長寿会・真名畑茶の実会)の皆さんと一緒に行いました。作り方や遊び方に最初は戸惑っていた児童たちも、教えてもらうとすぐ上手にできていました。体験活動終了後はふれあいまつりをを行い、ゲームなどを一緒に楽しんだ後、お世話になった老人会の皆さんへプレゼントを贈呈しました。児童たちは、郷土の伝統に対する理解を深めるとともに、楽しく交流していました。



## 交通事故の根絶に向けて

—第14回交通安全東白川地方大会—

第14回交通安全東白川地方大会が11月9日(水)、鳩町公民館で開催され郡内から関係者300人が出席しました。交通事故犠牲者および東日本大震災犠牲者に対する黙とうを行った後、各種交通安全に関する上部団体表彰伝達・披露および交通安全功労者などへの表彰がありました。最後に「交通事故の根絶に向けて、まい進することを誓います」という大会宣言を決議し、交通安全への意識を高めました。なお、開会前にはカンフー・ショクラクラブと鳩祭ばやし保存会によるアトラクションがあり、大会に花を添えました。

## 美しい歌声が会場に響く

—第16回県南女声合唱祭—

県芸術祭および第50回鳩町文化祭参加行事「第16回県南女声合唱祭」が11月13日(日)、鳩農村勤労福祉会館で開催されました。県南女声合唱連盟が主催して行われ、コーラスはなわのほか郡内および西白河地方から合わせて10団体が参加しました。各グループが2・3曲ずつ、美しいハーモニーを次々に披露しました。最後にステージに立った「コーラスはなわ」は、「旅愁」「よるこびが集ったよりも」「Sanctus」を発表。その後、全員で「ふるさと」を合唱しました。会場を訪れた観客250人は、その美しい歌声に魅了されていました。



## 工業高校ならではの学校祭

—鳩工業高等学校「第15回光が丘祭」—

鳩工高で3年に1回の学校祭「光が丘祭」が10月29日(土)・30日(日)の2日間開催されました。今回で第15回を迎え、初日は町内を仮装行列、2日目は一般公開が行われました。一般公開では、さまざまな出店やお化け屋敷、迷路、金魚すくいなど各クラスが工夫をこらしたほか、吹奏学部のコンサートや華道部の作品展示、和太鼓愛好会の演奏などが行われました。また、課題研究の作品展示など工業高校でしかできない展示も公開。会場は多くの来場者でにぎわいました。生徒たちにとって、思い出深い学校祭になりました。



## 開設を祝い、さらなる発展を願う

—ウッドピアはなわ3周年記念式典—

NPO法人ウッドピアはなわ(藤田伊一理事長)が運営する「障がい者就労サポートセンターウッドピアはなわ」の3周年記念式典が11月14日(月)、鳩第二コミュニティ消防センターで開催されました。施設利用者とその家族など60人が出席して行われ、藤田理事長のあいさつのほか、利用者の代表者が「私の夢」をテーマに感想を発表。その内容に盛大な拍手が送られました。また、落語家の三遊亭金兵衛さんによる記念寄席、昼食会があり、出席者は同施設の3周年をともに祝いました。





# 随 想

お待ちかね、あなたの出番です。  
2015  
シリーズ



**藤田 律子さん**  
(代官町)

職業 主婦  
趣味 合唱  
絵画 スポーツ観戦  
好きな言葉 「チャレンジ」

**私と合唱**

未曾有の大震災から9カ月になろうとしています。地震・津波・原発事故とかつて経験したことのない事態になり、昨今は放射能への不安が日常のあいさつとなってしまうました。スイッチを入れれば電気がともり、蛇口をひねれば水が出る、きれいな空気を胸いっぱい吸える、こんな当たり前のことが当たり前でなかったことを思い知らされました。さて、私の趣味の一つに合唱があ

ります。私にはお互いにとっても大切な仲間がいて、その仲間の存在が力強く、毎日の生活の励みになっています。震災後、合唱を自粛しましたが、元気を出そうと再開しました。そのとき「合唱をやっているよかったです。音楽って無駄じゃないなあ」と、うれしさと喜びを感じ「元気をもらいました。音って一瞬に消え目に映ることのないものですが、その一瞬が重なり合って音が音楽に・・・美しいハーモニーとなります。一音一音の美しさがたまりません。私には、合唱を通しての思い出がたくさんあります。一つは、長崎の全国大会です。平和への希望と祈りを込めて歌い上げたミサ曲は、自身への心地よい響きとなり、歌の力に改めて感動しました。

また、こんな思い出もあります。埼玉の成人式で歌った後で会場を出たとき、紋付き袴の3人の新成人が追いかけてきて、「おばちゃん(ジョック)当時は今よりずっと若かった)、ありがとう、僕ら歌を聴いて感激しました。埼玉にもこんな合唱団があったんですね。ふるさとって本当に良いですね。僕らが育った町にいつかは帰ってきます。ずっと歌い続けていってくださいね」と声をかけられました。とってもうれしかったです。合唱を続けている一つの要因なのかもしれません。

**満点に進歩なし**

はじめまして、こんにちは。前者の依頼に二つ返事で承りました。広報ペン執ることになりました。広報はなわを読む側からまさかの書く側に。思ってもみない緊急事態に、焦る頭と動こうとしない指。随想ではなく、走るリレーだったらどれだけ楽だったかと早くも挫折。

そんな折、ソフト仲間から忘年会の電話。ソフトは消防に在籍していたころ、班長に『右ならえ』の半ば強制参加で始まったもの。今では、試合が待ち遠しくしょうがない趣味の一つ。

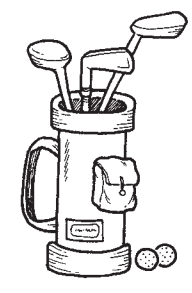
もう一つはゴルフ。結婚して間もなく義父に道具を一式預けられ、連

れて行かれたことを覚えていて。始めた当初、1000を切るまで道具に金は掛けまいと心に誓いはや16年。いまだに道具を新調していません。ゴルフは個人競技。これくらいで良いと、すぐ自分に満点を出してしまいい、全く進歩しないのです。しかし、ソフトは別でした。一緒にプレーする仲間がいる以上、自分に満点など出せるわけがありません。周りに迷惑を掛けたくないという責任感と、やればやっただけの結果が付いてくることを知った相乗効果によって、大きな進歩が生まれるものだと思います。

今、子どもたちはバスケットボールをしています。バスケットもまた団体競技であり、仲間がある以上、自分に満点(あきらめ)を付けてはいけななもの。悔いを残さぬよう、常に向上心を持ち続け、自分自身のスキルを高めてほしいと思います。

最後に、ゴルフ道具が新調されることを願いつつ、次の方へバトンをお渡しします(笑)。

■今回は西郷 勉さん(伊香です)。



## 「東京塙会」から こんにちは

No.95



**鈴木 碓子さん**  
神奈川県海老名市在住  
(川上出身)

このコーナーでは、東京塙会の皆さんの懐かしい思い出やふるさとへの思いを紹介しています。

**千葉の川上風景**

袋田、矢祭、そして上石井を過ぎるころには心がウキウキしてきたものです。次は塙だ。新幹線に変わる前は、上野駅から塙駅まで乗り換えなしで直通の急行便がありました。車窓からのんびり外を眺められ、春は緑一面の山々が見え、ヤマフジの花やサクラの花が迎えてくれました。子どもころは、夏は川上川で遊んだものです。魚がすいすい泳いでいて、魚と同じ川で遊んでいました。浅瀬のところではメダカがたくさんいて、手ぬぐいですくったり、川の中でちょっと大きめの石

をポチャンとほおって、それを潜って競って探すなど。夜は、川向こうの田んぼあたりにホタルが一面に小さな丸い光を放っていました。夜空を見上げると、満天の星空でした。カブトムシも、外灯に飛んできては道路に落ちていました。8月のお盆には、笹原小学校の校庭で盆踊り大会があり、やぐらの上からたたく太鼓の音が遠くまで聞こえ、ドンコンドンドンの音に合わせて大人も子どもも大きな輪になって踊ったものです。秋は、弘法山一体の紅葉が美しく、川面に映った紅葉が絵のように子ども心にも感動しました。赤トンボもいっぱい

飛んでいました。冬は、雪が降ったあとに、かやぶき屋根からツララが下がることもありました。

40年以上たっても、子どものころののどかな様子が次から次へと浮かんできます。現在は、横浜から相鉄線で25分ほどの神奈川県海老名市に住んでいます。塙町に帰れば、湯岐温泉や湯遊ランドはなわで温泉に入ってゆっくりしたり、ダリアの花を見たり景色を眺めたりして、ホッとできる楽しみがあります。道の駅はなわに寄って、物産品を見て買うのも楽しみです。

今、塙町では、震災による放射能の風評被害で農作物など今までないご苦労をされていることと思います。お見舞い申し上げます。そして、皆さまのご健康とお幸せを心からお祈りしております。

(今回は、千葉県野田市在住の野口恭子さんです)

**青砥 和彦さん**  
(上石井)



職業 会社員  
趣味 ソフトボール  
ゴルフ  
好きな言葉 「better」

心温まる善意ありがとうございます  
(11月分)

- 星電設株式会社 様  
電気毛布5枚 (友愛訪問先へ)
- 塙町商工会女性部 様  
靴下50足 (デイサービスセンター利用者へ)
- 鈴木 正彦 様 (東京都八王子市)  
100,000円 (小中学校の教育充実のために)
- 熊野神社氏子 木野反区有志一同 様  
11,111円 (町へ災害義援金)

●休日の当番医院

12月4日	おおひら整形外科クリニック ☎ 33-9468	12月25日	和田 医院 ☎ 33-2012
12月11日	塙 厚生病院 ☎ 43-1145	12月30日	東 館 診療所 ☎ 46-3165
12月18日	木 村 医院 ☎ 46-3528	12月31日	大 木 医院 ☎ 33-2424
12月23日	あらまちクリニック ☎ 33-8018	1月1日	金 澤 医院 ☎ 46-2312

**こんにちは赤ちゃん**

10月16日から11月15日までの届け出  
出生児名 父・母 月/日 住所

鈴木 映登 貴寛 郁枝 10/13 大蔵
近藤 結菜 篤史 絵史 10/15 常世北野
斉藤 弥音 桂悦 さや子 10/21 大町
白石 ひまり 尚也 福子 10/22 川上
深谷 恒太 将弘 恵子 10/31 川上

※「おくやみ申し上げます」は27ページに掲載してあります。



# 7 COLORS

## まちの輝く人

No. 2

「喜ぶ笑顔が見たいから」  
老人ホーム米山荘での  
ボランティア散髪42年

原理容室

原フサエ さん

PROFILE：はら・ふさえ

台宿在住  
昭和18年・理容師国家資格を取得。東京都吉祥寺の理容店で5年間修業後、福島県保原町(現伊達市)の理容店に3年間勤務。その後、塙町に戻り「原理容室」を開業。



家族3人で行った今年のボランティア散髪

「鈴木泰芳町長からの提案で始めました」昭和44年に養護老人ホーム米山荘が開設してから、同施設でのボランティア散髪を現在も続けているフサエさん。始めたころは一人でしたが、現在は信子さん(お嫁さん)、朱美さん(孫のお嫁さん)の3人で行っています。

毎年9月の「敬老の日」前後に米山荘を訪れ、一日がかりで入所者約50人の散髪やひげそりを一人ひとり丁寧に行っています。「さっぱりした。ありがとう」入所者からの感謝の言葉。疲れも吹き飛び、「やってよかった」と思う瞬間だそうです。今では、入所者ともすっかり顔なじみ。毎年楽しみに待ってくれ

ているそうです。

修業時代のことを聞いたところ、当時はまだ理容学校というものもなく、住み込みで修業しながら上野での講習を2年間受けていたそうです。修業はとても厳しく、夜は一人でよく泣いていたそうです。しかし、「人に笑われないよう、何がなんでも頑張るという強い思いで苦労を乗り越えました」と話してくれました。

家族のサポートのおかげで続けられる。そんな家族に感謝していますというフサエさん。今後も、必要とされるのであれば体の続く限り続けたいと話してくれたその目はとても輝いていました。

発行・編集／塙町役場  
印刷／佐藤印刷所  
〒963-1549  
福島県東白川郡塙町大字塙字大町三丁目21番地  
FAX (0247) 431211  
TEL (0247) 431216

### ●町の人口 9,855人(11月1日現在)

男性 4,870人(-12) 世帯数 3,293戸(-6)

女性 4,985人(-11) ( )内は前月比

※広報はなわの『町の人口』は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。

編集後記  
▼ダリアのまちづくり「国土交通省・全国地域づくり表彰」受賞、消防団「民報金ばれん」受賞。町にとって、誇り高い受賞が続きました。希望が持てる明るいニュース。塙町には、他に誇れるものがまだまだたくさんあるはず。今ある資源・財産・人をずっと大切にしていきたいと思いた。▼町の一大イベント「塙町産業祭」。今年も盛大に開催することができました。紙面には載せきれませんでした。だが、たくさんの方の笑顔に出会うことができました。ありがとうございます。関根宏二

### ●町長と町を語ろうよ いつでもご連絡ください

町は、町民の皆さんの手で支えられています。町長と気軽に話し合い、あなたのご意見をお聞かせください。なお、出張中などで町長が不在のときもありますので、町長と話がしたい場合には事前にご連絡をお願いします。

■問い合わせ 総務課総務係 ☎43-2111

### ●今月の納税等

町県民税	第4期
国民健康保険税	第6期
後期高齢者医療保険料	第5期
介護保険料	第6期
納期限	12月26日(月)